

2010年度

|   |  |    |      |     |       |
|---|--|----|------|-----|-------|
| 科目名   | ゼミナールⅡ   |    |      | コード | 80260 |
| 担当教員  | 近藤 篤俊  |    |      |     |       |
| 配当  | 人社4  |    |      | コード | 80260 |
| 開期  | 集中通年   | 講時 | 集中0限 | 単位数 | 4     |
| 授業テーマ   | 社会生活において「お金の計算を行う」という行為を、情報処理機器を使いながら深く考えてみよう。   |    |      |     |       |
| 目的と概要   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで学んできた「簿記・会計」について、ゼミ形式でさらに追求します。</li> <li>・コンピュータを「実践的に活用」できるようにするための手法を習得し、分析ツールとして深く利用します。</li> <li>・ゼミ活動の全体を通じて、卒論の完成につなげます。</li> </ul>   |    |      |     |       |
| 成績評価法   | 授業への参画度に重点を置き、ゼミ時間内の発言や課題提出状況、演習態度等を含めて総合的に判断を行います。<br>(授業への参画度&課題作成65%、期末テスト35%の割合)   |    |      |     |       |
| テキスト  | ゼミ初回時に指示します。   |    |      |     |       |
| 参考書   | ゼミ初回時に指示します。   |    |      |     |       |
| 履修に<br>当たっての<br>注意・助言   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミ内容に即した一年間の目標をそれぞれ作成し、ゼミ内で助け合い、協力しあいつつ、その目的を達成しましょう。</li> <li>・外部の検定試験等や、競技会に参加することによる、客観的な効果測定も考えています。(任意)</li> <li>・遅刻をしない事。遅刻者に対するチェックについて大変厳しく行っているので十分注意して下さい。</li> <li>・言われた事だけを行うだけではなく、ゼミの目的・理由・効果を毎回確認し、自由自在に応用展開が出来る様に、積極的な態度でゼミに望んでもらう事を期待します。</li> <li>・内容によって、他のゼミとの合同開講となる場合があります。</li> </ul> |    |      |     |       |
| 講義計画  |  |    |      |     |       |
| 1. オリエンテーション<br>2. 年度テーマ・方針決定、スケジュール作成<br>3-8. テーマ別調査・学習・討論・分析・実験 (その1-6)<br>9-10. 中間報告・問題分析・テーマや方向性の修正 (その1-2)<br>11-18. テーマ別調査・学習・討論・分析・実験 (その7-14)<br>19-21. 中間報告・問題分析・テーマや方向性の修正 (その3-5)<br>22-26. テーマ別調査・学習・討論・分析・実験 (その15-19)<br>27-28. 年度報告まとめ作業 (その1-2)<br>29. 年度報告発表会<br>30. まとめ・反省会 |  |    |      |     |       |